



Your partner
in progress

脱炭素社会への ロードマップ

研修と資格のご案内



ネットゼロ実現のための 第一歩となる 温室効果ガスの削減

気候変動は、大気中の温室効果ガス（GHG）の増加によって引き起こされ、有害な地球温暖化をもたらしています。国連によると、現在130カ国以上が、2050年までに排出量を正味ゼロ（ネットゼロ）にするという目標を設定、または検討しています。

持続可能性の目標を達成するための戦略を策定するために、組織は以下のことを行う必要があります：

- 決意を表明し、実施を約束する
- 境界線を設定する
- 排出量を定量化する
- 炭素削減計画を策定する
- 必要な研修と資格で従業員の教育訓練を実施する
- カーボンニュートラルとネットゼロを検証し、妥当性を確認する



ネットゼロへのコミットメントと活動

BSIでは、温室効果ガスの削減とカーボンニュートラルに向けた取り組みを支援しています。温室効果ガス排出量の把握、目標設定、主要ステークホルダーの関与など、ネットゼロ達成に向けた取り組みの初期段階から、教育訓練や検証に至るまで、私たちはあらゆる段階においてお客様と組織をサポートします。

	環境 マネジメント ISO 14001	エネルギー マネジメント ISO 50001	カーボン マネジメント PAS 2080	製品カーボン フットプリント ISO 14067	カーボン ニュートラリティ ISO 14068-1	組織の 温室効果ガス ISO 14064-1	温室効果ガス 声明書の検証 ISO 14064-3
システム認証	✓	✓					
検証					✓	✓	
研修及び資格	✓	✓	✓ ※企業内研修のみ提供 (資格課程なし)	✓	✓	✓	✓
製品認証			✓	✓	✓		





温室効果ガス (GHG) 関連研修

BSIが提供する研修プログラムは、組織がネットゼロの達成に向けて踏み出す第一歩を支援します。温室効果ガスの排出源を理解することから始め、直接的または間接的な排出量のインベントリを確立し、定量化することで、ネットゼロへの道筋をたどり、カーボン削減のための計画と目標設定を可能にします。

環境マネジメントシステム (ISO 14001)

環境マネジメントシステム関連研修は、組織のネットゼロへの実施をサポートする環境マネジメントシステムの導入と運用に重点を置いています。環境に対する配慮が不十分だった場合に生じる関連リスクを認識することができます。

エネルギーマネジメントシステム (ISO 50001)

エネルギーマネジメントシステム関連研修は、エネルギーマネジメントシステムの導入と運用に重点を置き、組織のネットゼロに向けた実施を支援します。あなた自身が組織を支援するために何ができるか、またご自身の役割の重要性について学びます。

[ISO 14064-1 組織の温室効果ガス定量化及び報告のための規格解説研修](#)

本研修では、GHGの測定・報告に関する基本原則を理解し、組織のGHG排出量を正確に評価するためのフレームワーク設計を学びます。さらに、データの品質管理や検証の重要性についても解説し、実践的な知識を提供します。

[カーボンマネジメント計画研修](#)

本研修では、GHG排出量を管理し、気候変動リスクに対応するために開発された関連規格、ISO 14064、ISO 14068、ISO 14090などの適用方法に焦点を当てています。

[ISO 14064-3 温室効果ガス-声明書の検証及び妥当性確認解説研修](#)

本研修では、GHG声明書と報告書の検証および妥当性確認のプロセスを学び、組織のGHG排出量を正確に測定・報告するための枠組みの設計方法を理解します。

ISO 14067 製品カーボンフットプリント定量化解説研修

製品のカーボンフットプリント（CFP）の算定は、消費される製品のGHG排出量を削減していることを顧客に示したい組織にとって、ますます重要になってきています。

本研修では、組織が製品のカーボンフットプリントを算定できるようにするための学習を提供します。

- 製品のカーボンフットプリントを算定するための主要原則を理解する
- 製品のカーボンフットプリントを算定する手法を学ぶ

ISO 14068-1 気候変動マネジメント -カーボンニュートラリティ解説研修

本研修では、ISO 14068-1で規定されているネットゼロへ向けた階層的な実施に沿って、カーボンニュートラルの主要原則と実践方法を学習します。

- カーボンニュートラリティに関連する重要な用語及び定義、ならびにプロセスについて知識を習得する
- カーボンニュートラルとネットゼロの違いと相互関係について学ぶ
- カーボンフットプリントのオフセット、報告、ネットゼロに向けた宣言書の作成などの重要な要求事項を理解する
- カーボンニュートラリティを達成するための活動計画を策定する
- どのような場合にカーボンオフセットが適切か、またカーボンクレジットの仕組みについて特定するための理解を得る
- カーボンニュートラリティに関する宣言の検証や妥当性確認の重要性を理解する



Greenhouse Gas (GHG)資格

GHG資格は、温室効果ガスの目標を達成するために必要な知識とスキルを個人が保有していることの証明を提供します。

GHGプラクティショナー資格は、温室効果ガス削減計画に携わっている、あるいは携わることを目指している個人に適した資格課程です。

GHGプロフェッショナル資格は、温室効果ガスに関する知識を構築し、ネットゼロに向けた組織の道筋を支援します。

BSIの資格課程は、受講後にオンライン試験を受験いただくことで、GHG関連研修から習得した学びを検証します。

各GHG資格レベルの全研修課程を合格修了した段階で、下記より該当資格をご申請ください。

資格のご申請

bsi

GHG プラクティショナー

資格取得のために受講する研修（下記3種の研修を合格修了する必要があります）

- [ISO 14064-1 組織の温室効果ガス定量化及び報告のための規格解説研修](#)
- [カーボンマネジメント計画研修](#)
- [ISO 14064-3 温室効果ガス-声明書の検証及び妥当性確認解説研修](#)

開催形式：ライブオンライン

資格対象者例:

- ISO 14001 (EMS) やISO 50001 (EnMS) などの、関連分野や規格に関する知識と経験を有するGHG/カーボンマネジメント実務担当者、エンジニア、施設管理者
- カーボンマネジメント計画の支援に関心がある方、またはサポートが必要な方
- 政策アナリスト、コンサルタント、サステナビリティマネージャー
- 検証人、評価者、監査員、実務担当者



GHG プロフェッショナル

資格取得のために受講する研修（下記2種の研修を合格修了する必要があります）

- [ISO 14067 製品カーボンフットプリント定量化解説研修](#)
- [ISO 14068-1 気候変動マネジメント-カーボンニュートラリティ解説研修](#)

開催形式：ライブオンライン

資格対象者例:

- 温室効果ガス (GHG) やカーボンの削減および管理の専門家であり、カーボンマネジメントプログラムの策定および実施を主導する方
- 部門長、プロジェクトリーダー、シニアコンサルタント
- 主任検証人、主任評価者、主任審査員、実施責任者





GHG資格の取得

BSIが提供するGHG資格は、各学習に対する試験を実施することにより資格取得希望者の学習を検証し、それぞれのレベルに応じたBSI GHG資格を獲得できるスキームに基づいています。

GHGプラクティショナー資格課程は、3研修（4日間）、GHGプロフェッショナル資格課程は2研修（4日間）で構成されています。

試験の実施について

受講者には、研修日程の最終日から2営業日以内にオンライン試験が付与されます。オンライン試験は付与日より30日間有効です。適切な時間を選び、有効期限内に各自でご受験いただきます。

資格を取得する

試験を合格修了すると、有資格者の証となるBSI資格マークが発行されます。資格マークは、履歴書、LinkedInのプロフィール、Eメールの署名などに表示することができ、対外的にご自身の力量を証明するツールとなります。組織としては、より多くの従業員がBSI資格を保有していることで、事業の専門性が高まっていることを裏付ける証明として活用できます。

BSIのGHG資格取得に向けた研修プログラムを開始しましょう。

担当営業またはBSI教育事業部
(Japan.Training@bsigroup.com) まで、お気軽にお問い合わせください。

ステップ 1:

GHG
プラクティショナー

[ISO 14064-1
組織の温室効果ガス定量化及び
報告のための規格解説研修](#)

試験

[カーボンマネジメント計画研修](#)

試験

[ISO 14064-3
温室効果ガス-声明書の検証
及び妥当性確認解説研修](#)

試験



資格のご申請

ステップ 2:

GHG
プロフェッショナル

[ISO 14067
製品カーボンフットプリント
定量化解説研修](#)

試験

[ISO 14068-1
気候変動マネジメント-
カーボンニュートラルティ
解説研修](#)

試験



資格のご申請



組織が取り組むメリット

- 営業コストと廃棄物を削減し収益性を改善することができます。
- 組織の取組みの検証/認証の取得により選ばれるサプライヤーとなり、新しいビジネスを獲得することができます。
- 持続可能な課題に対してリーダーシップを発揮することにより市場優位性を向上します。
- コンプライアンスに積極的に取り組むことで規制及び保証などの課題について先進的に活動することができます。
- 環境的、社会的、倫理的な課題についてコミュニケーションをとり管理することで、ポジティブなブランドイメージを創出します。
- 入札やビジネスチャンスにおいて、環境に配慮した組織であることを証明します。

BSIが選ばれる理由

業界のエキスパートが主導する世界的に認知された研修/資格プログラムは、組織のニーズに沿った包括的かつ実践的な教育訓練を提供します。国際的に認知されているBSI資格を取得することで、個々人の力量を対外的に証明することができます。

BSIは、国連SDGsへのさらなる貢献を支援するためにクライアントの皆様と協力し、以下のような重要な規格に関連するアシュアランスサービス、レギュラトリサービス、コンサルティングサービスを提供するというユニークな立場を享受しています。

- ISO 50001 (エネルギーマネジメントシステム)
- ISO 14064 (温室効果ガスの検証)
- ISO 20400 (持続可能な調達)
- ISO 20121 (イベントの持続可能性)
- ISO 37122 (持続可能な都市及びコミュニティ)

これら豊富な規格の取扱いと、クライアントの皆様に対する私たちの関連サービスとソリューションは、特にSDGs 17の目標だけでなく、最終的には個人それぞれが思い描くSDGsの多くを支えています。

担当営業またはBSI教育事業部 (Japan.Training@bsigroup.com) まで、お気軽にお問い合わせください。

認定認証機関として、BSIアシュアランスグループは、お客様が同マネジメントシステムに関してBSIグループの別の部門からコンサルティングを受けている場合、認証を提供することはできません。同様に、お客様がマネジメントシステム認証を求めている場合には、同マネジメントシステムに関するコンサルティングサービスを提供することはできません。





Your partner
in progress

各種研修の ご利用について

[ウェブサイト](#)を御覧ください

